

代表者名	遠藤 実	所管部課名	建設部港湾空港課
所在地	秋田市飯島字堀川 118	設立年月日	平成 6年 11月 1日

【沿革及び県の出資理由】

(1) 港湾及び河川・海岸の放置艇の集約を図り秩序ある水域利用を行う。(2) 海洋スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図る。(3) 観光及び教育等、地域活性化に寄与する。以上を目的に県等の出資により平成6年11月に設立された。

【出資者】(25年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	13,000	26.0
市町村	3	12,500	25.0
その他	8	24,500	49.0
計	12	50,000	100.0

【事業】

①主たる業務

- (1) マリーナの管理 指定管理者
- (2) 船舶用燃料、マリン用品の販売
- (3) 船舶修理業、レンタルボート事業
- (4) イベント、会議等の企画運営業務他

②事業実績

(隻)

事業名等	22年度	23年度	24年度
入艇数	418	426	420

③24年度事業概要及び25年度事業計画・目標

※事業売上53,114千円、自主事業売上41,216千円となり合計94,330千円(前年比95.5%)となった。当期利益計画59千円に対しては実績△2,986千円となり連続の赤字決算となった。入艇数においては計画21艇に対し実績21艇(計画比100.0%)となった。
 ※総売上105,215千円、当期利益37千円、専用利用入艇数30艇を計画。管理費の削減や出港促進策による売り上げの増加に努め、最終黒字を目標とする。

【組織】

①役員数(H25.7.1現在)

(人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	8	1
内、県退職者	1	
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	2	

②職員数(H25.4.1現在)

(人)

正職員	7	正職員 平均年齢	正職員 平均勤続年数
内、県退職者		36.1歳	11.1年
内、県職員			
出向職員		平成24年度正職員平均年収 3,964千円	
内、県職員			
臨時・嘱託	11		
内、県退職者			
計	18		
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数(平成24年度)	2人
役員報酬支給対象者平均年齢	61.0歳
平均役員報酬額(平成24年度)	3,928千円/年

【財務】

①損益状況(24年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	94,370
受託事業収入	53,114
補助金収入	
自主事業収入	41,216
運用益収入	
その他	40
経常支出 B	97,284
人件費	58,072
その他	39,212
経常損益 C = A - B	△ 2,914
経常外収入	2,373
経常外支出・諸税	2,445
当期損益	△ 2,986

②財務状況(24年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	103,729	81.8
固定資産	23,075	18.2
資産計	126,804	100.0
流動負債	62,369	49.2
短期借入金		
固定負債	4,945	3.9
長期借入金		
負債計	67,314	53.1
資本金	50,000	39.4
剰余金	9,490	7.5
純資産計	59,490	46.9
負債・純資産計	126,804	100.0

(千円)	
県の損失補償額	県の債務保証額

(千円 %)			
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	6,400	4,945	77.3%

【県の財政支出】

(千円)

	22年度	23年度	24年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
管理料				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	22年度	23年度	24年度	22-23増減	23-24増減
健全 発展 性	自己資本比率	%	46.10	46.43	46.91	0.33	0.48
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	166.07	162.95	166.31	△ 3.12	3.36
	経常収入額	千円	102,618	98,878	94,370	△ 3,740	△ 4,508
収益 性	剰余金（△欠損金）	千円	13,007	12,477	9,490	△ 530	△ 2,987
	経常利益率	%	△ 5.72	△ 1.80	△ 3.09	3.92	△ 1.29
	総資本利益率	%	△ 4.29	△ 1.32	△ 2.30	2.97	△ 0.98
効率 性	総資本回転率		0.75	0.73	0.74	△ 0.02	0.01
	職員1人当たり経常収入額	千円	5,401	5,204	4,967	△ 197	△ 237
	人件費比率	%	57.34	57.61	61.54	0.27	3.93

2 経営目標の達成状況

経営目標			22年度	23年度	24年度	25年度
経営 改善 指標	経常利益（千円）	目標	186	172	459	237
		実績	△ 5,869	△ 1,780	△ 2,914	
事業 成果 指標	自主事業売上（千円）	目標	53,779	46,371	46,741	50,847
		実績	47,045	44,111	41,216	
事業 成果 指標	入艇数（隻）	目標	459	403	382	383
		実績	418	426	420	
事業 成果 指標	出艇回数（回）	目標	7,300	7,300	7,000	7,000
		実績	6,990	6,566	5,688	
顧客満足度指数	目標	75.0	71.0	70.0	69.8	
	実績	68.4	69.5	67.2		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

※入艇数は計画100%となったが、年度末の退艇数を補うには不足となっている。今後、景気回復が順調に進み入艇数が伸びるかが鍵となる。引き続き入艇促進策および出港数向上策を行っていく。18年が経過し老朽化した施設のリニューアルのための年度計画を秋田県と協議し、順次進めていくことが最重要課題である。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>

※調査結果は、責任者会議の中で分析検討を行い全社員共有に努めるとともに実行可能なものは行った。今後も要望に真摯に対処していく。

4 総合評価（計算書類等の資料及びヒアリングによる評価）

I 概ね安定した経営内容	Ⓔ 一層の努力を要する経営内容
<p>・年間を通じた天候不順、燃料価格の高止まりにより燃料売上が低迷し、自主事業売上が前年度比2,895千円減少したことを主因として、経常収入は前年度に比べて4,508千円減少した。一方、経常費用は給料、経費削減により前年度に比べて3,374千円減少した。その結果、経常損失は1,134千円拡大し、△2,914千円となった。</p> <p>・退職給付引当金の引当率が77%と1,455千円の引当不足であり、追加計上が必要である。</p> <p><早期の改善が望まれる事項></p> <p>・25年度の専用利用入艇数30艇の計画は25年8月時点で達成して順調であるが、平成24年度の利用率は秋田57%、本荘57%、男鹿41%と低下傾向にあり、さらに棧橋やフォークリフトは老朽化して安全確保のためにリニューアルを検討する段階にあることを考えると、低稼働率のマリーナ等については存続の要否も含めた検討が必要である。</p>	